

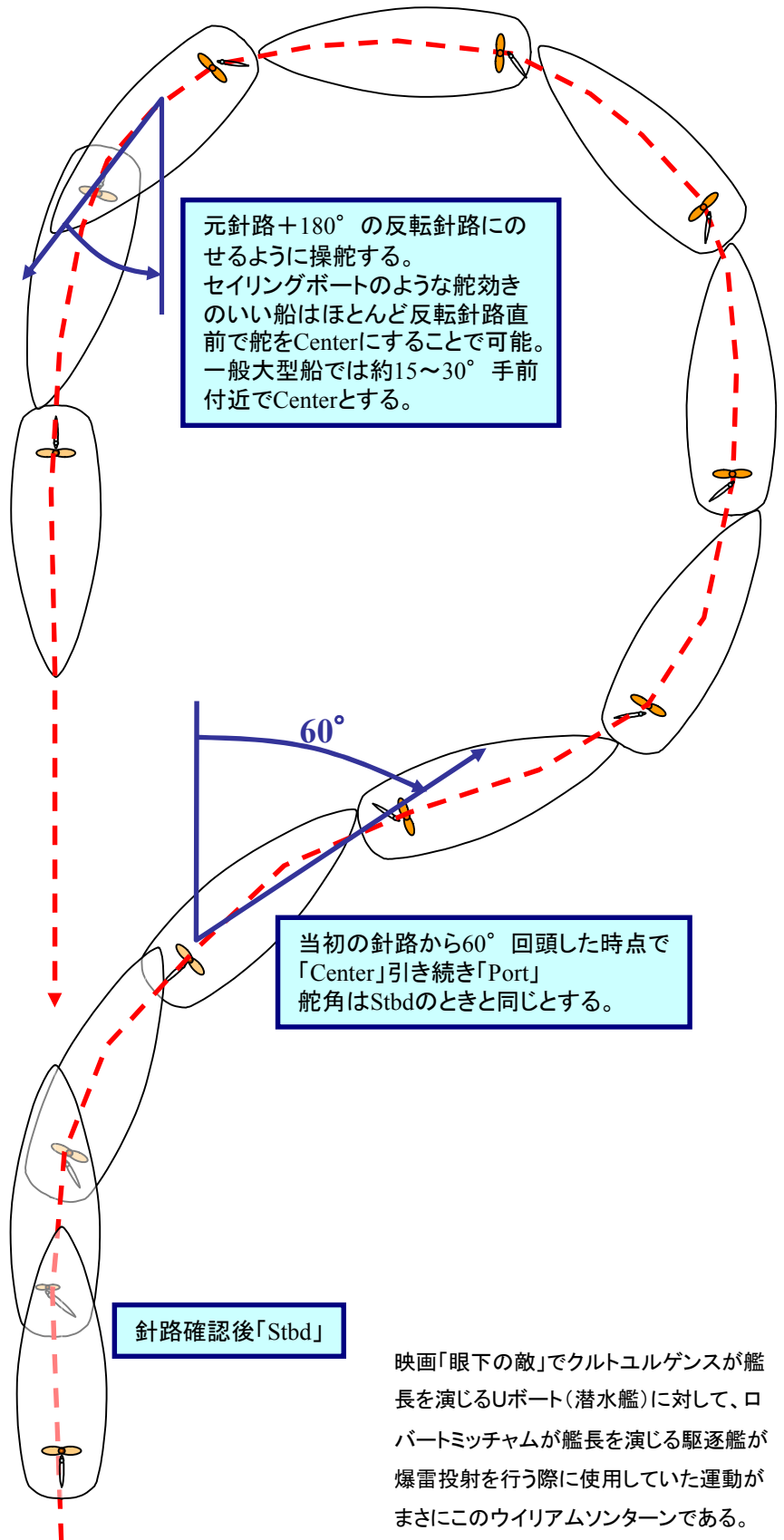
ウィリアムソン・ターン (The Williamson Turn for MOB)

防衛大ヨット部マニュアル
作製: D.S.T.
Update: 2008年12月

ウィリアムソン・ターンは、反転操舵の一手法である。

一定舵角の使用とそれぞれの転舵時期をヘディングの変化量にタイミングを合せて使用することにより、反転して元の進路上に正確に乗せることが可能。搜索回頭に有効。

1. MOBが発生した時、すぐにコンパスコースを記録し、デッキ上では所定のアクションを速やかに行う。
2. Stbd側に転舵し、適宜の一定舵角を維持する。反対舷への転舵時機は針路が元針路+60° のとき。
3. 元針路+60° に針路が達したら舵をCenterに戻す。
4. 舵をCenterに戻したら、引き続きPortサイドへ当初と同じ舵角だけ転舵する。
5. 元針路+180° の反転針路になったら舵をCenterに戻し、コースを維持する。
6. この手順により、元のコースをほぼ正確に逆にたどることになる。レシプロカルコース (Reciprocal)



映画「眼下の敵」でクルトユルゲンスが艦長を演じるUボート(潜水艦)に対して、ロバートミッチャムが艦長を演じる駆逐艦が爆雷投射を行う際に使用していた運動がまさにこのウィリアムソンターンである。